



2023年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月10日

上場会社名 のむら産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7131 URL <https://www.nomurasangyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清川 悦男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西澤 賢治 TEL 042 (497) 6191
 四半期報告書提出予定日 2023年3月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第1四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第1四半期	1,346	16.4	57	90.2	60	99.6	32	151.3
2022年10月期第1四半期	1,156	—	30	—	30	—	12	—

(注) 包括利益 2023年10月期第1四半期 35百万円 (110.5%) 2022年10月期第1四半期 17百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第1四半期	24.41	—
2022年10月期第1四半期	9.23	—

(注) 2021年10月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年10月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第1四半期	3,394	1,372	40.4
2022年10月期	3,633	1,392	38.3

(参考) 自己資本 2023年10月期第1四半期 1,372百万円 2022年10月期 1,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	—	—	42.00	42.00
2023年10月期	—	—	—	—	—
2023年10月期 (予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,929	10.0	150	△23.9	150	△23.9	90	△24.8	68.56
通期	5,881	7.7	319	△14.9	318	△14.1	199	△16.9	150.83

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期1Q	1,391,575株	2022年10月期	1,391,575株
② 期末自己株式数	2023年10月期1Q	69,246株	2022年10月期	69,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期1Q	1,322,329株	2022年10月期1Q	1,391,598株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年11月1日～2023年1月31日）における我が国経済は、ウクライナ紛争の長期化や金融政策等を背景とした資源価格の高騰や物価上昇により、依然として予断を許さない状況が続いております。

一方で、新型コロナウイルス感染症については未だ収束していない状況が続いておりますが、行動制限は緩和され、経済活動の正常化が進む兆しが見えてまいりました。

このような状況のなか、当社グループは2022年12月に中期経営計画（2023年10月期～2025年10月期）を策定し、その初年度である当連結会計年度は年度経営方針として、年度財務計画達成のため、各事業の重点施策に基づき、事業の推進に取り組んでおります。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高13億46百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益57百万円（前年同期比90.2%増）、経常利益60百万円（前年同期比99.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益32百万円（前年同期比151.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

（包装関連事業）

包装関連事業の主要取引先であるコメ流通業界は、少子高齢化による人口減や食の多様化により、国内のコメ消費量が毎年減少傾向にあります。

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響が緩やかに正常化に進む中で、外食産業も回復傾向がみられ業務用向け販売は堅調に推移しました。一方、外出自粛の制限が緩和され巣ごもり需要は減少傾向が見られるものの、家庭用向けの販売も堅調に推移しました。

その結果、売上高は11億28百万円（前年同期比18.5%増）となり、セグメント利益は53百万円（前年同期比284.2%増）となりました。

（物流梱包事業）

物流梱包事業につきましては、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響が緩やかに正常化に進む中で、EC市場における貨物輸送量の拡大等により販売実績は堅調に推移しました。

その結果、売上高は2億18百万円（前年同期比6.9%増）となり、セグメント利益は人件費の増加等の影響で減少傾向となり、3百万円（前年同期比76.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億34百万円減少し、24億47百万円（前連結会計年度末比8.8%減）となりました。これは主に現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと等によるものであります。現金及び預金の減少は、法人税等の納付及び配当金の支払いによるものであり、受取手形、売掛金及び契約資産の減少は、回収等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、9億47百万円（前連結会計年度末比0.4%減）となりました。これは主にのれん償却等によるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ2億38百万円減少し、33億94百万円（前連結会計年度末比6.6%減）となりました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少し、18億16百万円（前連結会計年度末比9.5%減）となりました。これは主に仕入債務の支払い及び未払法人税等の納付等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、2億5百万円（前連結会計年度末比12.1%減）となりました。これは主に長期借入金返済により減少したこと等によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ2億19百万円減少し、20億22百万円（前連結会計年度末比9.8%減）となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、13億72百万円（前連結会計年度末比1.4%減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上の一方で、株主配当により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期通期の業績につきましては、2022年12月14日付「2022年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した業績予想に変更はございません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,043,372	766,753
受取手形、売掛金及び契約資産	872,602	650,359
電子記録債権	106,483	253,438
商品及び製品	151,556	139,986
仕掛品	367,235	456,050
原材料及び貯蔵品	119,566	131,211
その他	22,101	50,151
貸倒引当金	△284	△246
流動資産合計	2,682,633	2,447,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	432,309	432,309
減価償却累計額	△188,135	△190,445
建物及び構築物（純額）	244,174	241,864
機械装置及び運搬具	14,127	14,127
減価償却累計額	△11,546	△11,717
機械装置及び運搬具（純額）	2,581	2,409
土地	400,435	400,435
リース資産	62,933	62,933
減価償却累計額	△26,314	△28,894
リース資産（純額）	36,618	34,038
その他	20,142	25,912
減価償却累計額	△15,855	△16,380
その他（純額）	4,287	9,531
有形固定資産合計	688,096	688,279
無形固定資産		
のれん	82,033	73,547
その他	9,828	8,878
無形固定資産合計	91,862	82,426
投資その他の資産		
投資有価証券	141,544	146,862
繰延税金資産	7,555	7,090
その他	22,122	22,433
貸倒引当金	△264	—
投資その他の資産合計	170,958	176,385
固定資産合計	950,917	947,091
資産合計	3,633,551	3,394,796

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,639	368,792
電子記録債務	1,093,943	1,115,328
1年内返済予定の長期借入金	128,412	128,412
リース債務	14,551	15,214
未払法人税等	102,307	48,140
賞与引当金	58,523	21,755
製品保証引当金	2,425	2,524
その他	118,280	116,128
流動負債合計	2,007,082	1,816,296
固定負債		
長期借入金	159,990	127,887
リース債務	32,938	28,647
繰延税金負債	4,916	6,596
退職給付に係る負債	13,472	19,903
資産除去債務	22,689	22,754
固定負債合計	234,007	205,788
負債合計	2,241,090	2,022,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
利益剰余金	1,340,910	1,317,656
自己株式	△67,722	△67,722
株主資本合計	1,353,188	1,329,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,272	42,778
その他の包括利益累計額合計	39,272	42,778
純資産合計	1,392,460	1,372,711
負債純資産合計	3,633,551	3,394,796

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年11月1日 至 2022年1月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年11月1日 至 2023年1月31日）
売上高	1,156,447	1,346,655
売上原価	874,855	1,023,654
売上総利益	281,592	323,001
販売費及び一般管理費	251,223	265,250
営業利益	30,369	57,751
営業外収益		
受取配当金	91	107
為替差益	—	2,512
その他	653	690
営業外収益合計	745	3,311
営業外費用		
支払利息	543	372
その他	160	—
営業外費用合計	704	372
経常利益	30,410	60,689
税金等調整前四半期純利益	30,410	60,689
法人税等	17,563	28,406
四半期純利益	12,846	32,283
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,846	32,283

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年11月1日 至 2022年1月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年11月1日 至 2023年1月31日）
四半期純利益	12,846	32,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,158	3,505
その他の包括利益合計	4,158	3,505
四半期包括利益	17,005	35,789
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,005	35,789
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

当社及び連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年11月1日 至 2022年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	710,945	—	710,945	—	710,945
包装機械関係	241,529	—	241,529	—	241,529
梱包資材関係	—	177,082	177,082	—	177,082
梱包機械関係	—	26,890	26,890	—	26,890
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	952,475	203,972	1,156,447	—	1,156,447
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	952,475	203,972	1,156,447	—	1,156,447
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3	3	△3	—
計	952,475	203,975	1,156,450	△3	1,156,447
セグメント利益	14,039	16,329	30,369	—	30,369

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	779,475	—	779,475	—	779,475
包装機械関係	349,060	—	349,060	—	349,060
梱包資材関係	—	191,935	191,935	—	191,935
梱包機械関係	—	26,183	26,183	—	26,183
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	1,128,536	218,119	1,346,655	—	1,346,655
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,128,536	218,119	1,346,655	—	1,346,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	△19	△19	19	—
計	1,128,536	218,099	1,346,636	19	1,346,655
セグメント利益	53,938	3,812	57,751	—	57,751

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。